

～「よし！ごみを減らそう！」と思ってくれる人が一人でも増えるように願いを込めて～



4R通信（第68号）

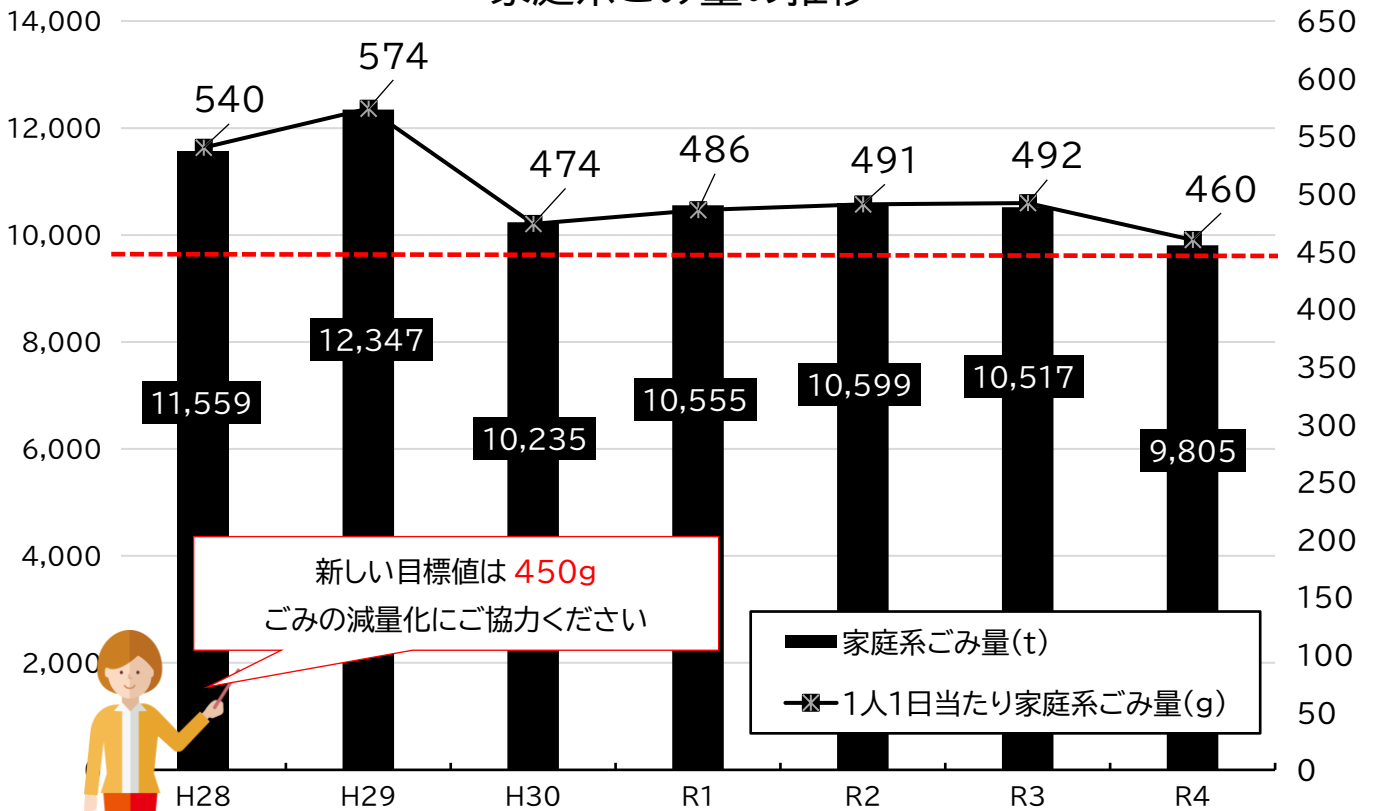


断わる リデュース ♪ 減らす リデュース ♪ 繰り返し使う リユース ♪ 資源化する リサイクル

新しい目標値は1人1日当たり家庭系ごみ排出量450g！

令和5年3月に常滑市ごみ処理基本計画を見直し、常滑市ごみ減量化推進計画2023を策定しました。計画期間は令和5年度から令和8年度までで、新しい目標値は、家庭系ごみは1人1日当たり**450g**、事業系ごみは年間**8,791t**になります。スローガンは『**断る勇氣、減らす努力、ごみを出さないエコな生活**』です。一人ひとりの行動でごみ量は大きく減りますので、引き続きご協力をお願いいたします。

家庭系ごみ量の推移



断る勇氣、減らす努力、ごみを出さないエコな生活

常滑市では、1人1日当たりの家庭ごみ排出量**450g**を目標としています。

【お問い合わせ】生活環境課 0569-47-6115



常滑市ごみ減量化推進計画 2023 の主な取組

1 小学生を対象としたごみ減量授業の実施

市内9小学校の4年生を対象にごみ減量授業を実施し、児童を通じて各家庭にごみ減量の意識を浸透させ、家庭ごみの減量化・資源化が促進されることを目指しています。



2 プラスチック製容器包装の代用品の使用、紙類はペーパーレス化を推奨

令和3年 12 月のごみの調査の結果では、もえるごみの中にプラスチック製容器包装が 7.8%、その他紙類が 6.9%含まれていました。不必要なプラスチック製容器包装や紙類をそもそも発生させないために、プラスチック製容器包装は代用品の使用、紙類はペーパーレス化を推奨していきます。

3 食品ロス削減のため冷蔵庫などを定期的にチェックする、あるものを使いきり、不要なものを買わない行動を推奨

令和3年12月のごみの調査の結果では、まだ食べられる食品(食品ロス)が 10.1%含まれていました。これは、常滑市の1世帯当たりから毎日 110g(おにぎり1個分)がまだ食べられるのに捨てられていることになります。

冷蔵庫や食品保管庫の中のものを定期的にチェックする日を月1回定め、食品ロス削減のため、あるものを使いきり、不要なものを買わない行動を推奨していきます。また、常滑市社会福祉協議会が実施しているフードバンク(家庭や事業所で使用されていない食品を集めて福祉団体等に寄附をする事業)を支援します。



4 ルールを守らずごみを出す不適切排出を抑止するため監視カメラの増設

市内集積所にルールを守らずごみを出す不適切排出に対して、抑止のため監視カメラを設置し、順次増設していきます。改善されない場合は、監視カメラの映像を警察に提供します。

また、不法投棄監視員を引き続き配置し、監視に努めます。監視時に不法投棄されているものを発見し、個人が特定できる可能性がある場合は、積極的に警察に通報します。

